

会議報告書

会議名	令和7年度第1回地域連携推進会議（障害者支援施設見学）
日時	令和7年10月20日（月）10：00～12：15
場所	会議室
出席者	地域関係者、福祉知見者、経営知見者、利用者家族、利用者園長、総務部長、地域支援部長、支援部長
議題	<p>1 開会 園長挨拶 第1回目は施設を知っていただくことを中心に本日実施。2回目は3月頃を予定している。</p> <p>2 委員紹介 各委員より自己紹介</p> <p>3 施設紹介 日中支援課⇒診療室⇒生活3課⇒栄養調理課⇒生活1課⇒生活2課⇒体育館⇒機械浴室の順で見学。 各所で利用者との関り、詳細説明や特別食の試食等を実施。 ・施設開放について質問あり。⇒事前申し込みで受付できることを回答。 ・園周囲の倒木等の対応について、管理者の確認あり。⇒個人所有の土地であり、全体の対応が難しい状況がある。 ・利用者がお金を自由に使える環境があるのか質問あり。⇒お小遣いとして自己管理している方がいる。</p> <p>(1) 地域連携推進会議について 総務部長より会議の目的・役割について資料をもとに説明。</p> <p>(2) 令和6年度厚木精華園利用状況について 支援部長より、地域との繋がりや外部へ出ることを積極的に取組んでいることを説明し、今後も地域の方々との連携強化に努めていきたいことを依頼する。 施設見学と昨年度状況の報告から、各委員のご意見・ご感想を伺う。</p> <p>○地域関係者：施設の入口等、植木伐採等の頻度を上げ、もっときれいにすべき。印象が大事である。そのために、周囲の倒木対応等は厚木市にも依頼したほうが良い。市への要望書等も協力することは出来るので、声を上げて欲しい。また、コロナ禍前のように、地域との交流機会を増やせるよう提案して欲しい。地域には、こちらから周知することもできる。</p> <p>○経営知見者：介護の分野では認知症の対応が中心となるが、中には知的や精神に障がいがある方もいて、ケアの難しさを感じることもある。介護と障がいでお互いに情報共有することで、福祉分野がより良い方向に進めると思う。今後も連携を図りながら、研修等を実施できたらと思う。 見学時にお会いした利用者さんが明るいと感じた。それは支援している職員が明るく接しているからだと思う。自身の施設でも取り組まなければと思った。 介護の分野も人材確保に苦慮しているが、職員が少ない中でもサービスをどう継続していくか、工夫が必要だと思っている。</p>

○利用者家族：家族目線の意見になるが、他施設の家族会の方とお会いした際、この会議が義務化されたことを知らなかったり、施設側に都合の良いメンバー構成で実施していたりという話を聞く。そのような状況の中、しっかり取り組んで意見を伺える機会に感謝している。

また、機械浴室のような設備は、大規模施設だから設置できる条件（ハード面だけではなく、対応する人的確保等）が揃うと思った。

○福祉知見者：久しぶりに全体を見学させていただき、利用者の皆さんがお年を召されたという印象を受けた。また、全体の人数が少なくなったと感じた。

自身の園も高齢化が進む状況にあり、以前から高齢者支援を学ばせてもらっていたので、今後も情報共有や交流機会を継続して一緒に取り組んでいきたい。

○利用者：外部に通所している事や、日中活動での活動内容等、自ら発言。また、園内の行事で「おっちゃんずのバンドが良かった。」と長寿の祝いのイベントが一番印象に残っているとのことであった。

4 その他

神奈川県 厚生常任委員会報告について

指定管理期間延長について、改めて延長期間の確認があり回答。

5 閉会

以上

会議報告書

会議名	令和7年度第2回地域連携推進会議（障害者支援施設）
日時	令和8年3月26日（木）10：00～12：00
場所	会議室
出席者	地域関係者、福祉関係者、経営知見者、利用者家族、利用者園長、総務部長、支援部長、地域支援部長
議題	<p>1 開会 園長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none">・雨の中、ご参加ありがとうございます。・今年度2回目の会議にて、厚木精華園の今後・昨日実施された、県本会議の報告等させていただきます。・第1回目に実施した施設内見学において、再度意見があればお伺いしたい。・委員の方からご意見があった、園内の雑草等の伐採は即時対応させていただいた。 <p>2 運営状況報告</p> <p>(1) 生活介護の実績について</p> <ul style="list-style-type: none">＊中山農園との農福連携の取り組み・地域とのつながりを重視し、実施してきた。・日中支援課職員が、農福連携コーディネーターに登録している。・作業内容～週1回、1時間程度、利用者2～3名、職員1～2名にて実施。・車椅子の利用者も参加し、軽作業を実施。・今年度の活動実績～全24回、27名が参加。・参加されているメンバーの方は、以前農作業に携わっている経験者が多い。・活動場所の隣で飼っている、やぎ・アヒルが園に来ての、ふれあい動物園を開催し、地域の繋がりが重要と改めて感じた。・今後も、取り組みを続けていくことで、更なる地域との連携を強化していきたい。 <p>○利用者：ふれあい動物園では、やぎがかわいかった。とても楽しかったとのこと。</p> <p>○経営知見者：地域との連携は重要と感じ、先日の敬和荘へ見学に来ていただいたり、意見交換をさせていただく中で、合同の研修会へ出席させていただいた。研修に参加した職員からも好評だったとのこと。高齢と障がいとの違いや今後取り組む課題等の発見ができ勉強になった。</p> <p>○福祉関係者：日中活動のバリエーションが増えて良かったと感じた。紅梅学園でも農福連携に取り組んでいる課題として、工賃の還元について検討している。</p> <p>○地域関係者：ふれあい動物園については、生きている動物にさわるとは刺激になり、楽しいイベントが多くあれば利用者も大変喜ぶと思われる。 (やぎの餌：地域関係者より、サツマイモの茎を提供していただいた)</p> <p>○利用者家族：地域連携推進会議は2回出席させていただき、地域との連携等の報告を聞く限り活動は良いものの、今までこのような事業があまりできていなかったと感じた。地区ごとのエリアで、今後も地域交流を続けていくことは友好的と感じた。</p> <p>(2) 厚木精華園の今後について</p>

- ・3月14日の家族会にて開催された、神奈川県からの説明会資料に沿って説明する。
- ・今後のスケジュール～令和8年7月、8月モニタリング会議等実施され、方向性の決定。

4 その他

*厚木精華園からのお知らせ（別紙資料より）

- ・中井やまゆり園議会報告を受け、法令違反、不適切対応が公表された。法人として反省し速やかに対応します。

法令違反

- ①医薬品安全管理者を看護課長とする。（3月4日選任）

不適切事項

- ① 薬品の安全使用のための業務標準手順書の作成。（3月中に作成）
- ② 医薬品の安全使用のための研修。（3月中に実施予定）
- ・健康診断結果を家族に伝達していなかったことについても、診断結果に所見があった際には電話連絡のうえ再受診していたが不適切と認識し、今後は健康診断結果を送付します。

*次年度の組織体制について

- ・法人職員の欠員状況の報告。
- ・男性寮編成～2課4寮体制から、2課3寮体制の編成
（入浴課題～移動、男性職員減、利用者減等への対応策として）
- ・栄養調理課～人員不足により、令和8年4月より業者委託の予定、3/2 試食会を実施。概ね好評であった。

○利用者家族：現在入所定員100名だが、指定管理施設では定員の変更は不可であるが、民間施設では変更ができるのか。

○福祉知見者：事業変更申請により、可能である。職員数も変更できる。

○経営知見者：職員不足は同様であり、具体的な取り組みはあるか。

●園：法人に人材企画部があり、就職説明会に参加している、かなテクカレッジ等にも出向き就職説明会も同様に実施している。スカウト（業者）利用し、1日に20名程に就職案内通知を送っている。また、県内の学校・県外にも出向き説明会を実施している。園ごとにハローワーク等求人広告を掲載させていただいている。

○経営知見者：介護部門は、人材派遣を利用するケースが増えている。また、入社後の育成に課題があると認識している。人材育成が重要と思われる。

荻野地区は交通の便が悪く、通勤時のハードルが高いため何か工夫したい。

5 閉会

- ・厚木精華園あり方検討会の3回目が実施されておらず、今後報告させていただきます。
- ・厚木精華園の今後の方向性については、令和8年7月、8月頃に提示されると思われる。
- ・今回の会議において、近隣の方・地域の方との連携の重要性を強く感じました。

以上